

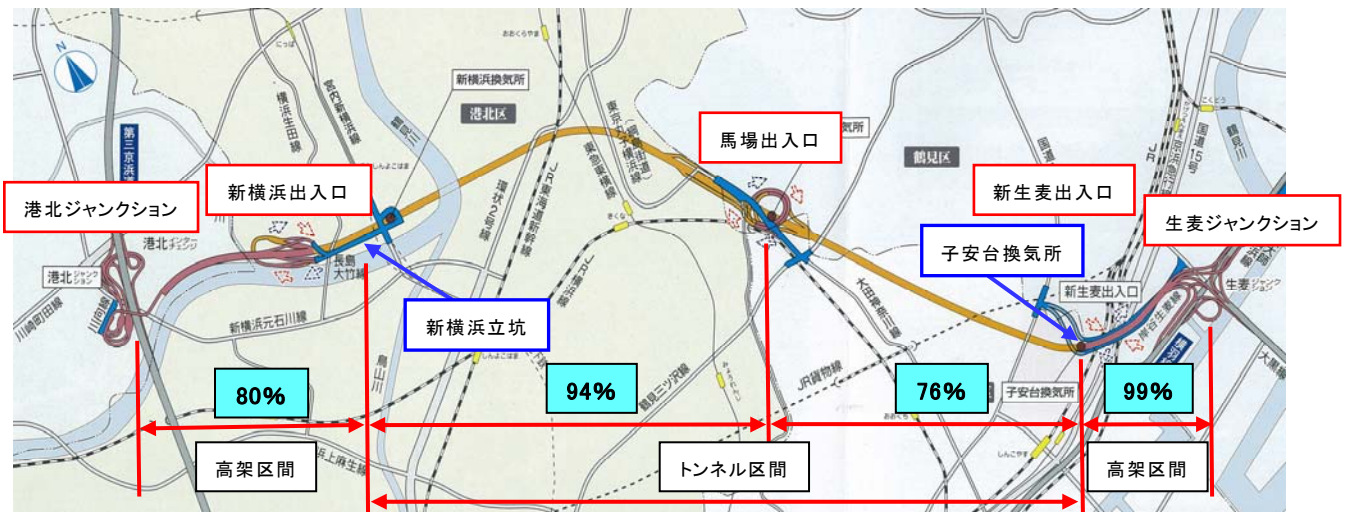
高速横浜環状北線の進ちょく状況について

現在、新横浜立坑内において、トンネルを掘り進めるためのシールドマシンの組立てを行っており、本年 10 月より掘削を開始する予定です。

トンネル工事に先立ち、現在の用地および工事の進ちょく状況や、地元説明の状況などについてご報告いたします。

1 進ちょく状況

(1) 用地取得率 87% (平成 22 年 6 月末現在)



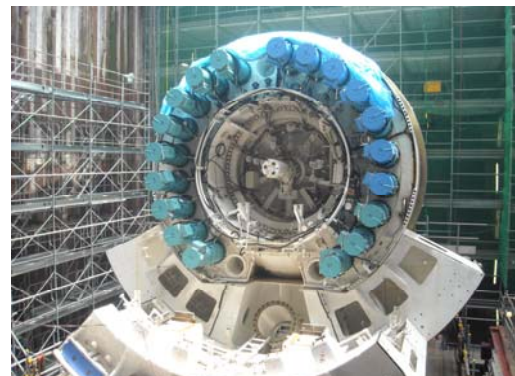
< 凡例 > 区間毎の用地取得率

(2) 工事進ちょく状況

平成 19 年に港北区新羽町および神奈川区子安台公園において、立坑工事に着手しました。本年 10 月より、港北区新羽町の「新横浜立坑」から 2 基のシールドマシンが発進する予定であり、神奈川区子安台公園の「子安台換気所」までの約 5.5km を掘り進んでいきます。



① シールドマシン完成イメージ
(直径：約 12.5m)



② 新横浜立坑内におけるマシン組立て状況
(写真奥側が生麦方面)



③新横浜立坑から仮置きヤードまでの
土の運搬経路（イメージ）



④トンネル工事で発生した土の
仮置きヤード（鶴見川遊水地内）



⑤JR 京浜東北線側から見た子安台換気所全景
（神奈川県子安台公園）

2 トンネル工事の地元説明について

10月のシールドトンネル工事着手に先立ち、沿線にお住まいの方々に対し、工事の概要や建物等の事前調査について、説明会を開催しています。

6月26日（土）に、港北区新羽町・北新横浜二丁目にお住まいの方々を対象に新羽小学校で説明会を開催しました。今後も日時・場所を調整の上、沿線にお住まいの方々を対象とした説明会を順次開催していく予定です。

3 事業期間の見直しについて

事業者である首都高速道路㈱におきましては、全力を尽くして用地取得及び工事を進めているところですが、用地取得に際して交渉の困難な案件が一部あり、時間を要しております。

特に、トンネル区間のうち、馬場出入口から子安台換気所までの区間、および子安台換気所から生麦ジャンクションまでの高架区間における用地取得が当初の予定よりも遅れており、首都高速道路㈱からは、現在、全体的な工程の見直しを行っているところであると聞いております。

本市としましても事業者と連携し、用地取得及び工事が円滑に進むよう、積極的に取り組んでまいります。